

Japan Clinical Oncology Group (日本臨床腫瘍研究グループ)

肝胆膵グループ

独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費 23-A-22

「難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究」班

JCOG1113-A1

「進行胆道癌を対象としたゲムシタビン+シスプラチン併用療法(GC療法)とゲムシタビン+S-1 併用療法(GS療法)の第III相比較試験(JCOG1113)」の附随研究

化学療法を施行した進行胆道癌における薬剤感受性予測因子に関する

研究実施計画書 ver1.0

グループ代表者：古瀬 純司

杏林大学医学部 内科学腫瘍内科

附随研究代表者：奥坂 拓志

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

附随研究事務局：坂本 康成

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

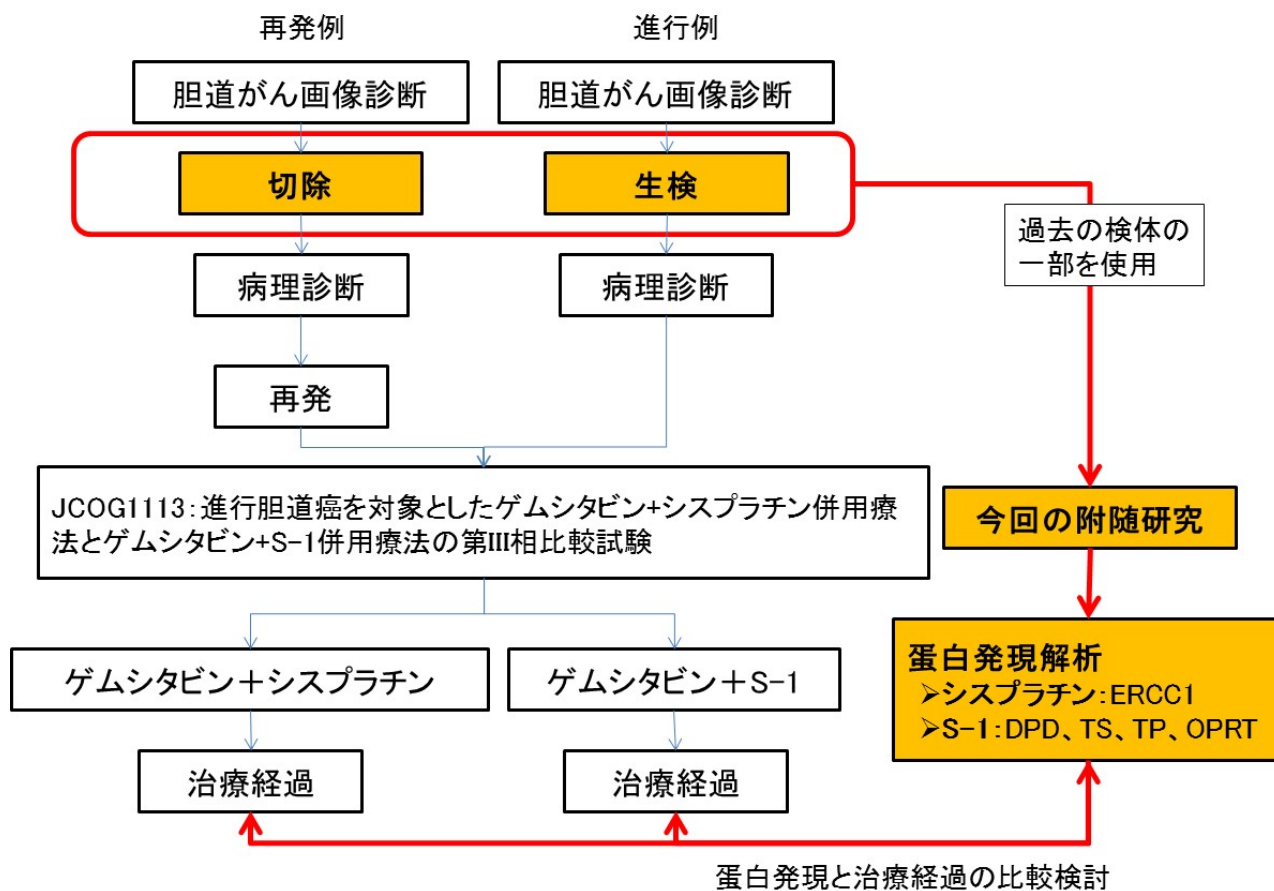
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

森実 千種

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵腫瘍科・肝胆膵内科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

0. 概要



1. 目的

進行胆道癌を対象としたゲムシタビン+シスプラチン併用療法 (GC 療法) とゲムシタビン+S-1 併用療法 (GS 療法) の第 III 相比較試験 (JCOG1113) において、薬剤感受性予測に有望な蛋白の発現の程度と GC 療法/GS 療法の治療効果や予後との関連を探索的に検討する。